

## 第2学年「国語」学習指導案

授業者 大村 幸子

2月14日（金） 2階D室 10:00～10:40（話し合い11:00～11:45）

### 1 単元名 やくわりを考えよう －「ロボット」をもとに－

#### 2 単元について

##### ・生活から学びを立ち上げる

「みがく」の活動で、自分の興味関心をもとにした探究活動に取り組んできた（例えば、歌、スポーツ、生き物等）。その道を極めたいという思いをもち、練習をしたり、調べたり、専門家にお話を伺ったりする活動を通して、自分の専門性を高めるだけでなく、対象が自分たちの生活にどのように関わるのかを考えようとしていた。一方、興味はあるのだけれど、なかなか深まらない分野があった。「リニア中央新幹線」と「ロボット」のグループである。動く仕組みを理解し自在に活用することや、実生活の場面と結び付けて考えることが2年生にとっては難しかったのであろう。「動いた!」という発表に留まった。その後、友達から、「他に作ってみたいロボットはありますか?」「どんなことが便利になるの?」という質問が出た。ちょうど本単元の入り口を探していたこともあり、こうした声を取り上げ、「ロボット」を読むことを起点に、ロボットの役割、自分たちの生活や意識の変化、人間の役割を考える単元を立ち上げることにした。

##### ・主体的な読みをめざして

前単元「紙コップ花火の作り方」を読む学習では、「筆者の心を読もう」という大きな問いのもと、「きれいな」「～しましょう」等に内包される筆者の思いや、文章構成、説明の順序、写真挿入等、筆者の書き方の工夫に注目した読みを行った。問いを大きく幅広に設定することで、この時期の子どもたちの多様な読みを認め、様々な気づきから読むことのおもしろさを感じることができるのではないかと考えたのである。

本単元においても、大きな問いのもと、それぞれが自由に文章を読む時間をとることとする。様々な読みが予想されるが、その子なりの読みを尊重し、寄り添うことで、その子なりの「知れてよかった」「また読みたい」という主体的な姿が見られることを期待する。大きな問いを何にするかということであるが、教材文「ロボット」と出会った子どもたちの感想をもとに考えることとする（当日資料参照）。

#### 3 学習指導計画（5時間目／全9時間）

- 第1次 学習材と出会い、大きな問いを考え、単元を立ち上げる……………1時間  
第2次・説明文「ロボット」を読む……………6時間  
    ・問いをもとに読む……………本時5/9時間  
    ・問いをもとに他者と対話する……………次時6/9時間  
第3次 自分の考えをまとめる……………2時間

#### 4 本時の学習について

##### (1) 本時のねらい

- ・「ロボット」を読み、分かったことをまとめ、友達と共有することができる。

##### (2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1. サークルで本時のめあてを確認する。 2. グループごとに、読み取ったことをまとめる。 3. サークルで、読んで分かったことを共有する。 4. 自席に戻り、学習のふり返りをする。	・自分の経験をもとに想像を広げたり、理解を深めたりしようとする読みを大事にする。 ・発表はサークルの形で行い、自由な聴き合いの中で、読みを共有するようにする。

#### □授業後の話し合いで話題にしたいこと

子どもたちの多様な読みの姿を、教師は、どう見とり、主体的な読みとして、寄り添っていくか。